

四條畷市教育環境整備に関するアンケート調査結果

平成29年9月

四條畷市教育委員会教育環境整備室

教育委員会では、本市が抱える教育環境への課題（校区のねじれ、校舎の老朽化、小規模校化）を解消するため、平成27年3月に「四條畷市教育環境整備計画」を策定し、校区再編、学校統廃合を含む教育施設の再配置・再配備を計画に基づき進めているところです。

このようななか、平成29年1月の東修平市長の就任を機に、市長と教育委員で組織する総合教育会議において、教育環境整備計画の一部修正を決定のうえ、今後の小学校再編のあり方については、幅広い年齢層に対してのアンケート等を通じて、市民の皆様の思いや考えを伺っていくことを確認し「四條畷市教育環境に関するアンケート」を実施させていただきました。

このたびアンケート調査結果がまとまりましたので、結果をお知らせします。

なお、小学校の再編については、まちづくり長期計画に示す公共施設の新設を目的とした四條畷小学校の廃校は行わないことを念頭に、今回のアンケート結果、平成30年4月から実施予定の四條畷南中学校の活断層調査、学校を含む公共施設の劣化診断調査を踏まえ、今後さらに市民の皆様の意見を伺ったうえで、議会との議論を行い、市長部局、教育委員会で決定していきます。

アンケート調査へのご協力ありがとうございました。

目次

I	調査の概要	2
II	調査の結果	3
Q1.	四條畷市教育環境整備計画をどれくらい知っていますか？	3
	①年代別	3
	②小学校区別	4
Q2.	計画を知ったのは、どのようにしてですか？	5
	①年代別	5
	②小学校区別	6
Q3.	「計画」における小学校の再編の目的のうち、賛同ができるのはどれですか？	7
	①年代別	7
	②小学校区別	8
Q4.	「計画」の中で不安に思う項目はどれですか？	9
	①年代別	9
	②小学校区別	10
Q5.	子どもにとってより良い教育環境として望むことはどのようなことですか？	11
	①点数比較	11
	②優先順位1位の件数	12
	③世代別・優先順位1位の上位5項目	13
	④小学校区別・優先順位1位の上位5項目	14
Q6.	その他、ご意見がありましたらご記入ください。	15

●各集計の構成比は百分率で表し、四捨五入して小数点以下1位で表示しているため、合計が100%にならない場合があります。

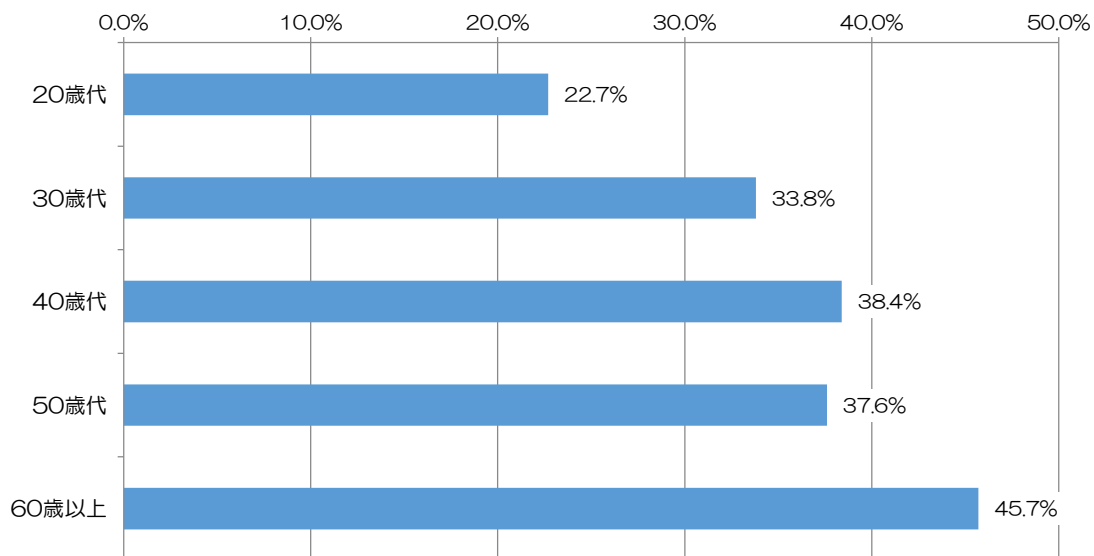
●グラフ中のNは構成比を表示する際の母数を示します。

●図表中及び文章中、選択肢などを一部省略して表記している場合があります。

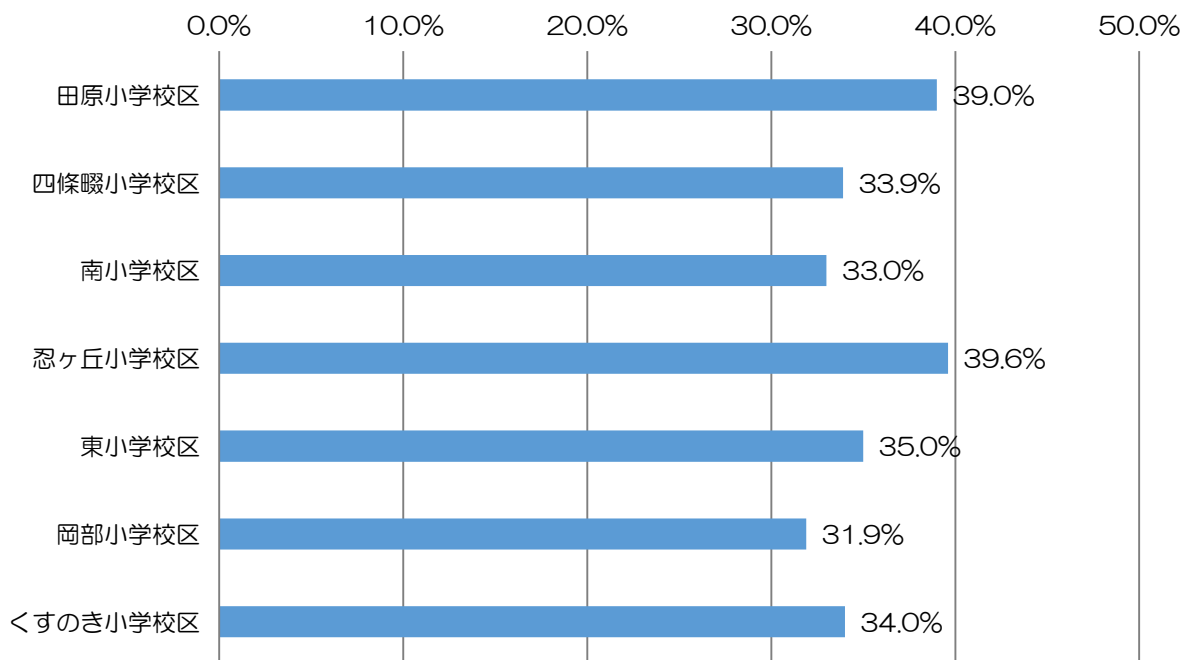
I 調査の概要

- 対象 20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代以上 各1,000人（無作為抽出）
- 方法 郵送配布、回収
- 期間 平成29年4月20日（木）～5月24日（水）
- 回収数 1,788通（回答率36.0% 未到達数40通を除く）

アンケート回答率（年代別、回答数/送付数）



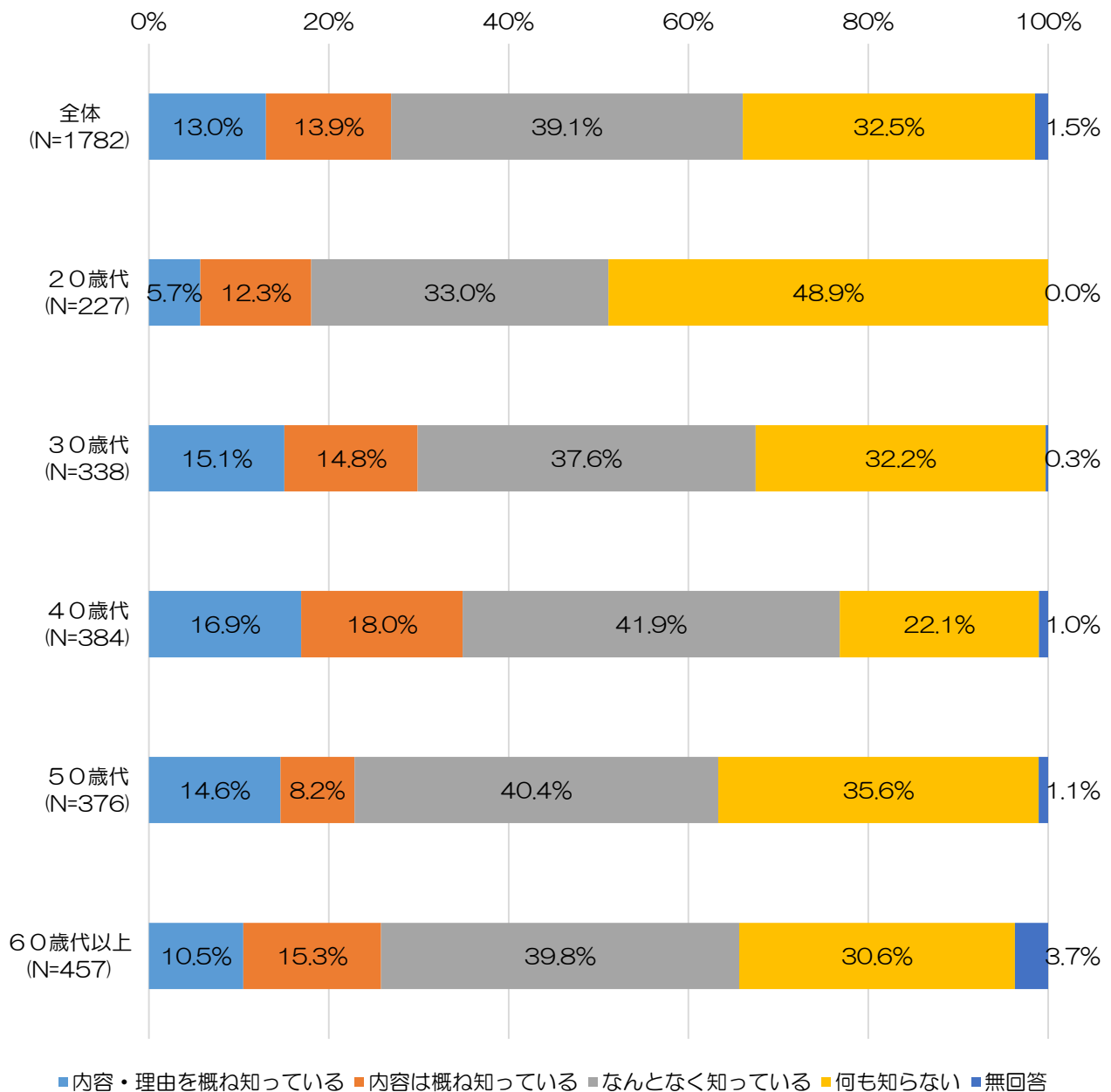
小学校区別回答率



Ⅱ 調査の結果

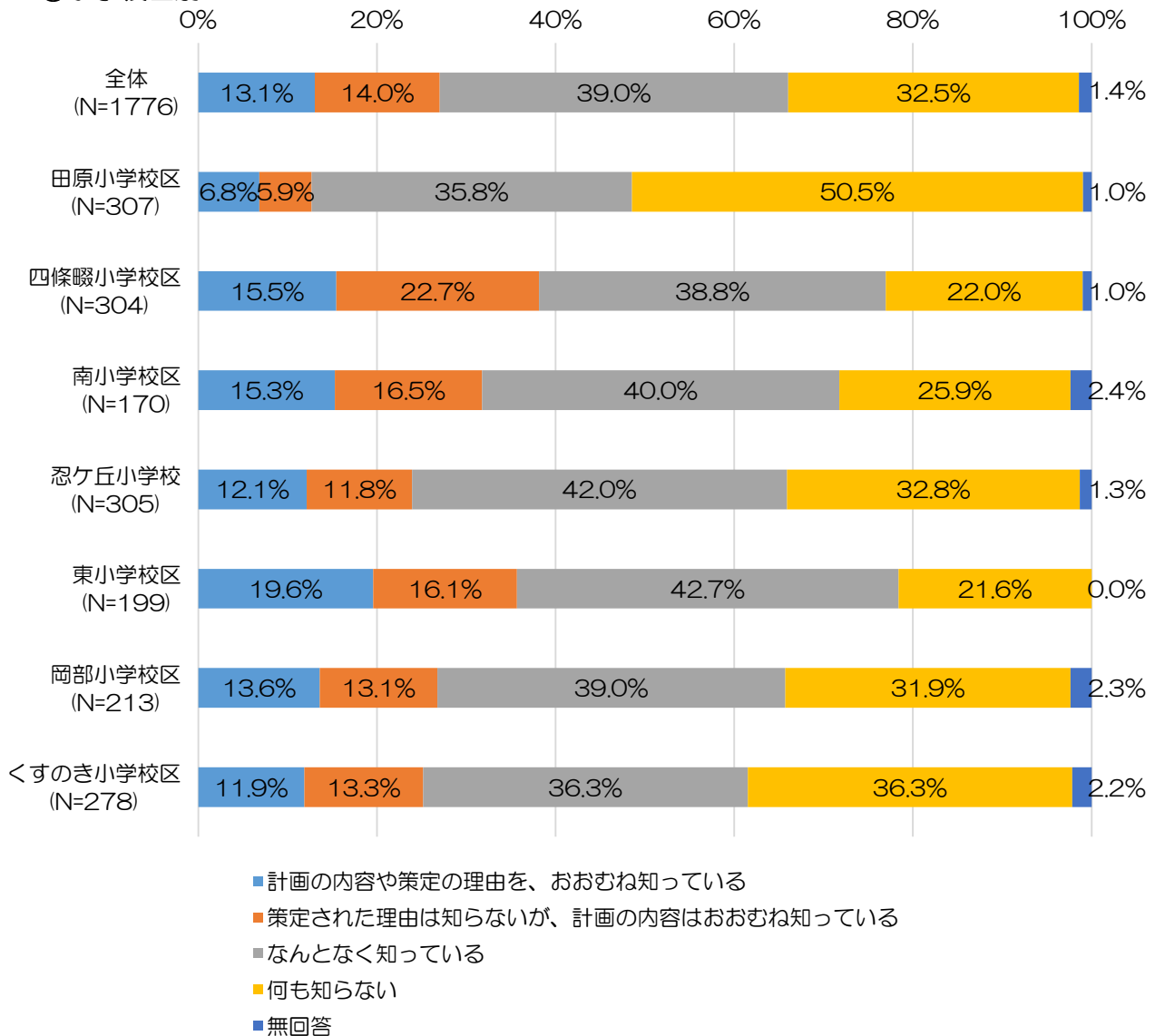
Q1.四條畷市教育環境整備計画をどれくらい知っていますか？

①年代別



「四條畷市教育環境整備計画について、どれくらい知っていますか？」との質問に対し、年代別にみると、
20歳代：「何も知らない」の割合が最も多く、次に「なんとなく知っている」「策定された理由は知らないが、計画の内容はおおむね知っている」「計画の内容や策定の理由を、おおむね知っている」の順になりました。
30歳代・50歳代：「なんとなく知っている」の割合が最も多く、次に「何も知らない」「計画の内容や策定の理由を、おおむね知っている」「策定された理由は知らないが、計画の内容はおおむね知っている」の順になりました。
40歳代・60歳代：「なんとなく知っている」の割合が最も多く、次に「何も知らない」「策定された理由は知らないが、計画の内容はおおむね知っている」「計画の内容や策定の理由を、おおむね知っている」の順になりました。

②小学校区別



「四條畷市教育環境整備計画について、どれくらい知っていますか？」との質問に対し、小学校区別にみると、**田原小学校区**：「何も知らない」の割合が最も多く、次に「なんとなく知っている」「計画の内容や策定の理由を、おおむね知っている」「策定された理由は知らないが、計画の内容はおおむね知っている」の順になりました。

四條畷小学校区：「なんとなく知っている」の割合が最も多く、次に「策定された理由は知らないが、計画の内容はおおむね知っている」「何も知らない」「計画の内容や策定の理由を、おおむね知っている」の順になりました。

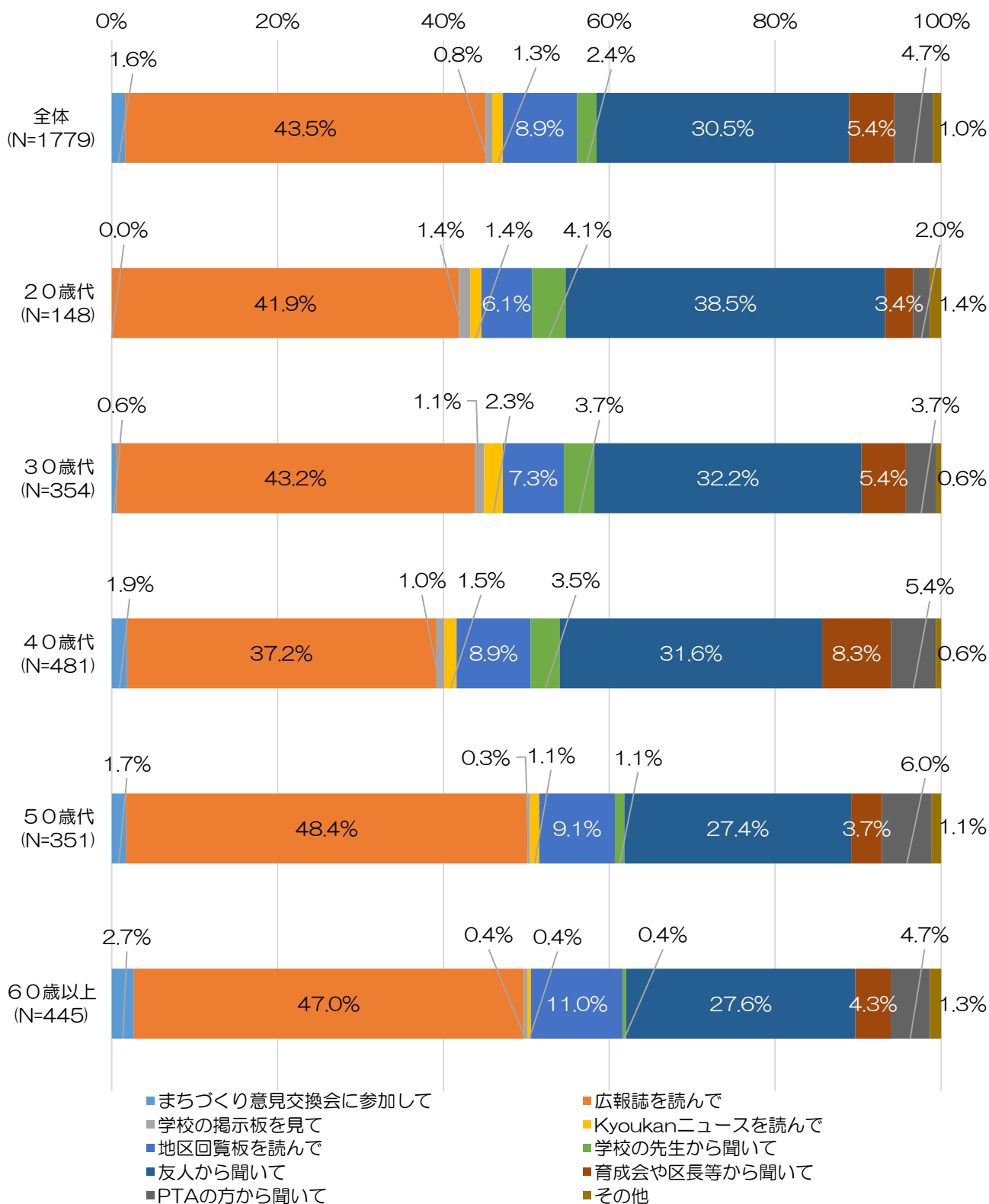
南小学校区：「なんとなく知っている」の割合が最も多く、次に「何も知らない」「策定された理由は知らないが、計画の内容はおおむね知っている」「計画の内容や策定の理由を、おおむね知っている」の順になりました。

忍ヶ丘小学校区・東小学校区・岡部小学校区：「なんとなく知っている」の割合が最も多く、次に「何も知らない」「計画の内容や策定の理由を、おおむね知っている」「策定された理由は知らないが、計画の内容はおおむね知っている」の順になりました。

くすのき小学校区：「策定された理由は知らないが、計画の内容はおおむね知っている」「なんとなく知っている」の割合が最も多く、次に「策定された理由は知らないが、計画の内容はおおむね知っている」「計画の内容や策定の理由を、おおむね知っている」の順になりました。

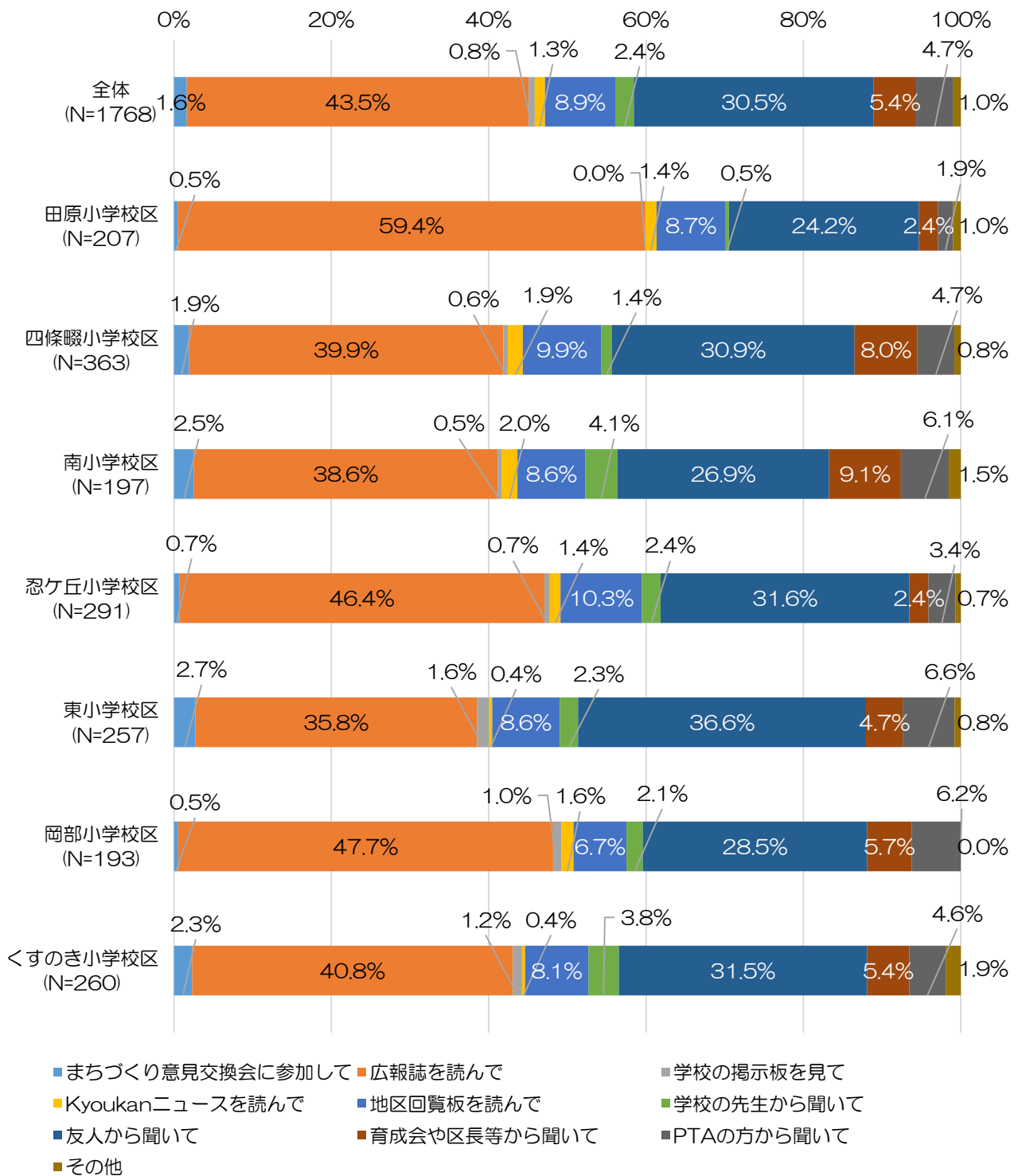
Q2.計画を知ったのは、どのようにしてですか？（複数回答可）

①年代別



「計画のことを知ったのは、どのようにしてですか？」という質問に対して、年代別にみると、すべての世代で、「広報誌を読んで」と回答した人数が最も高く、次に「友人から聞いて」「地区回覧板を読んで」の順になりました。

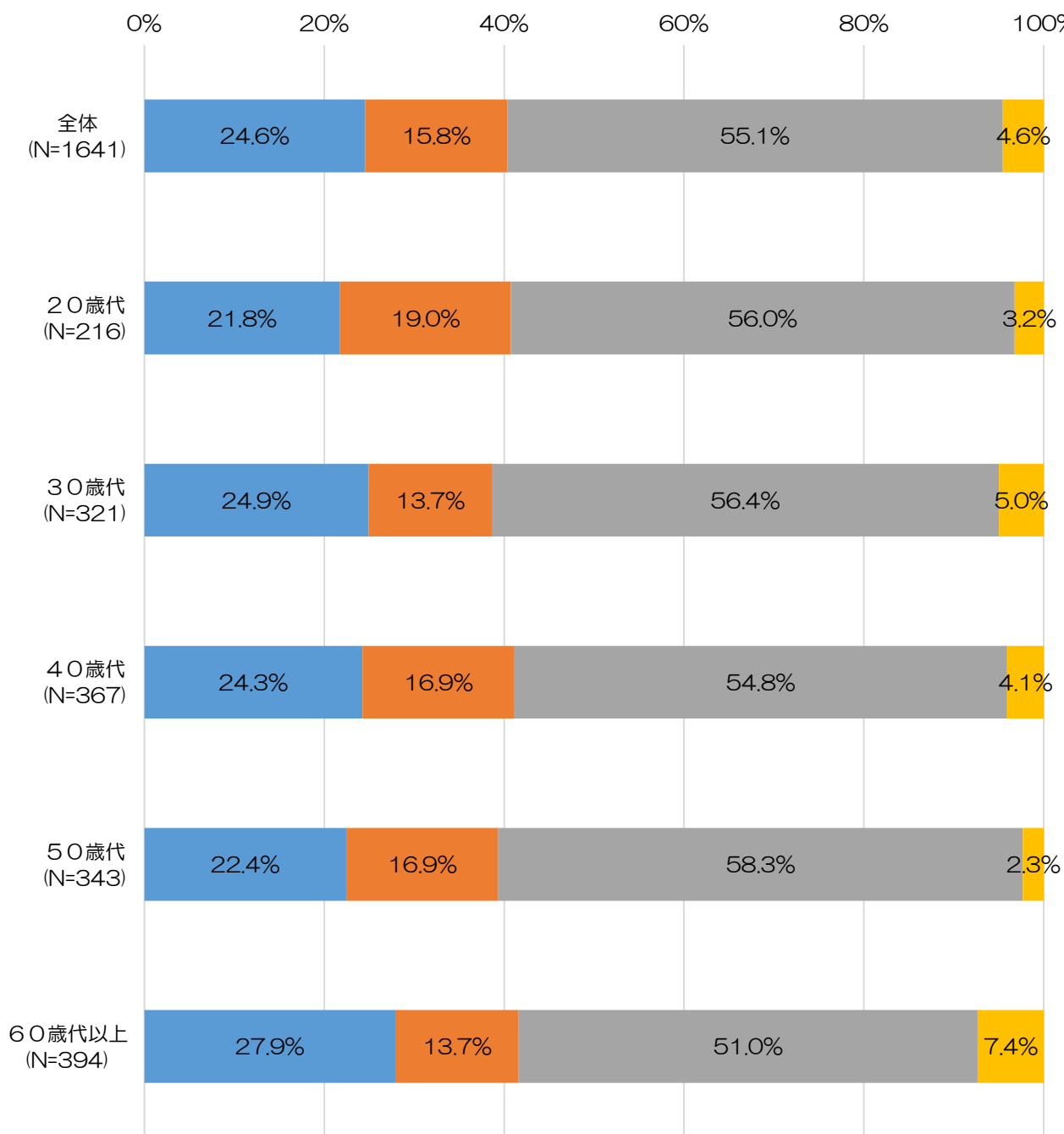
②小学校区別



「計画のことを知ったのは、どのようにしてですか?」という質問に対して、小学校区別にみると、**田原小学校区・四條畷小学校区・忍ヶ丘小学校区・岡部小学校区・くすのき小学校区**：「広報誌を読んで」と回答した人数が最も高く、次に「友人から聞いて」「地区回覧板を読んで」の順になりました。
南小学校区：「広報誌を読んで」と回答した人数が最も高く、次に「友人から聞いて」「育成会や区長等から聞いて」の順になりました。
東小学校区：「友人から聞いて」と回答した人数が最も高く、次に「広報誌を読んで」「地区回覧板を読んで」の順になりました。

Q3.「計画」における小学校の再編の目的のうち、賛同ができるのはどれですか？

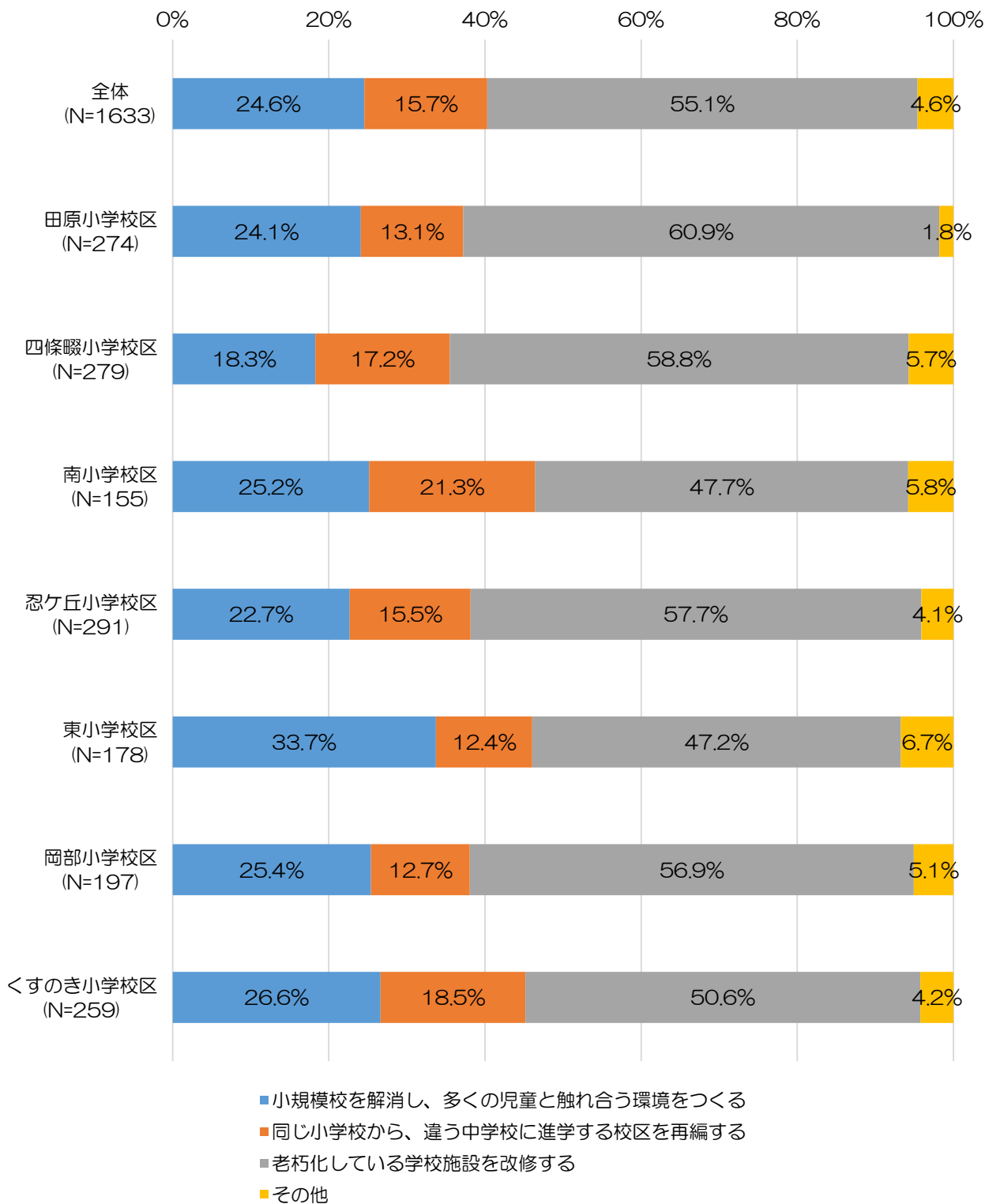
①年代別



- 小規模校を解消し、多くの児童と触れ合う環境をつくる
- 同じ小学校から、違う中学校に進学する校区を再編する
- 老朽化している学校施設を改修する
- その他

「計画における小学校の再編の目的のうち、賛同できるのはどれですか？」という質問に対して、年代別にみると、すべての年代で、優先順位1位の割合が一番高かったのが、「老朽化している学校施設を改修する」でした。次いで、「小規模校（11学級以外の学校）を解消し、多くの児童と触れ合う環境をつくる」、「同じ小学校から、違う中学校に進学する校区を再編する」の順になりました。

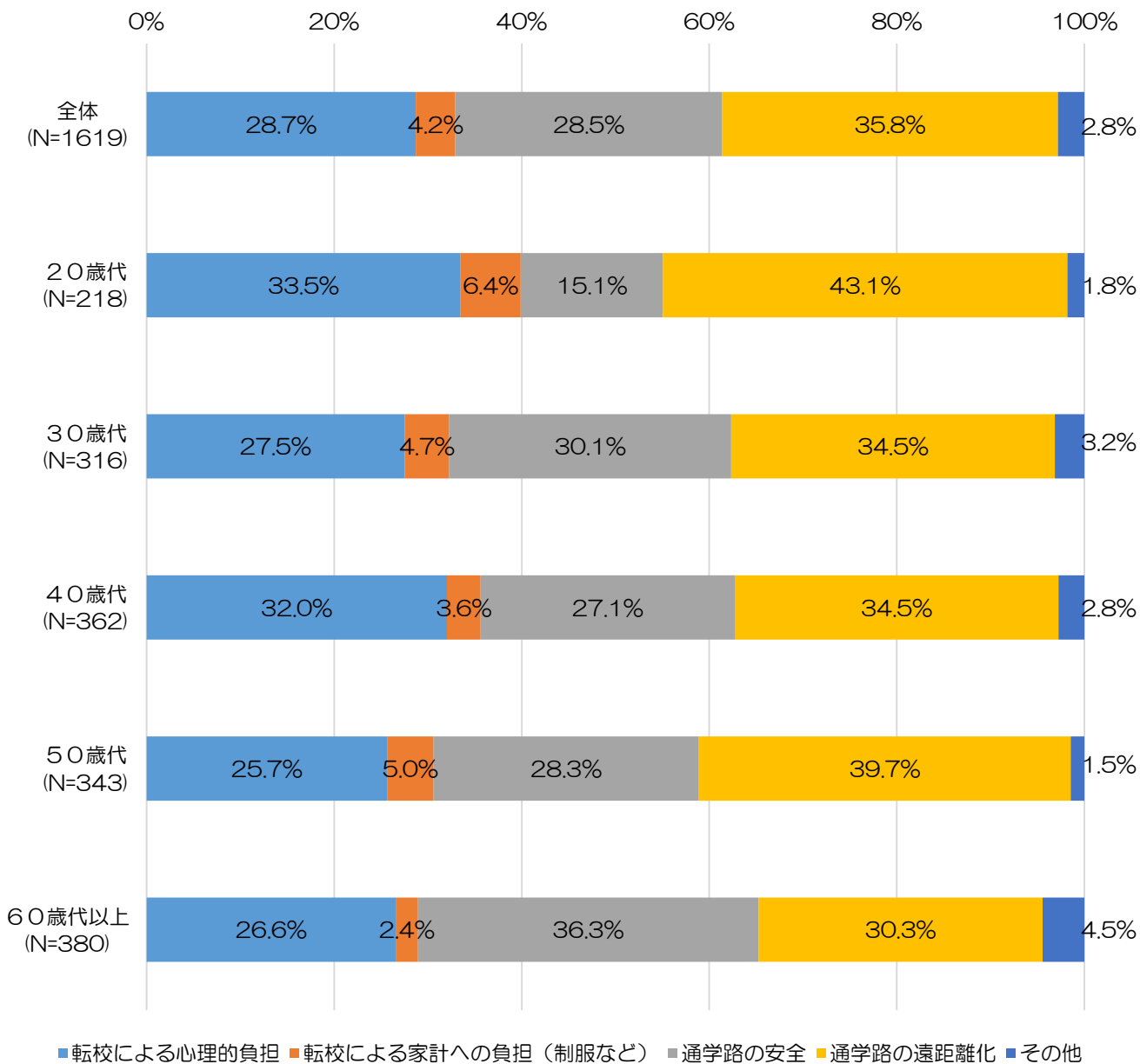
②小学校区別



「計画における小学校の再編の目的のうち、賛同できるのはどれですか?」という質問に対して、小学校区別にみると、すべての小学校区で、優先順位1位の割合が一番高かったのが、「老朽化している学校施設を改修する」でした。次いで、「小規模校(11学級以外の学校)を解消し、多くの児童と触れ合う環境をつくる」、「同じ小学校から、違う中学校に進学する校区を再編する」の順になりました。

Q4.「計画」の中で不安に思う項目はどれですか？

①年代別



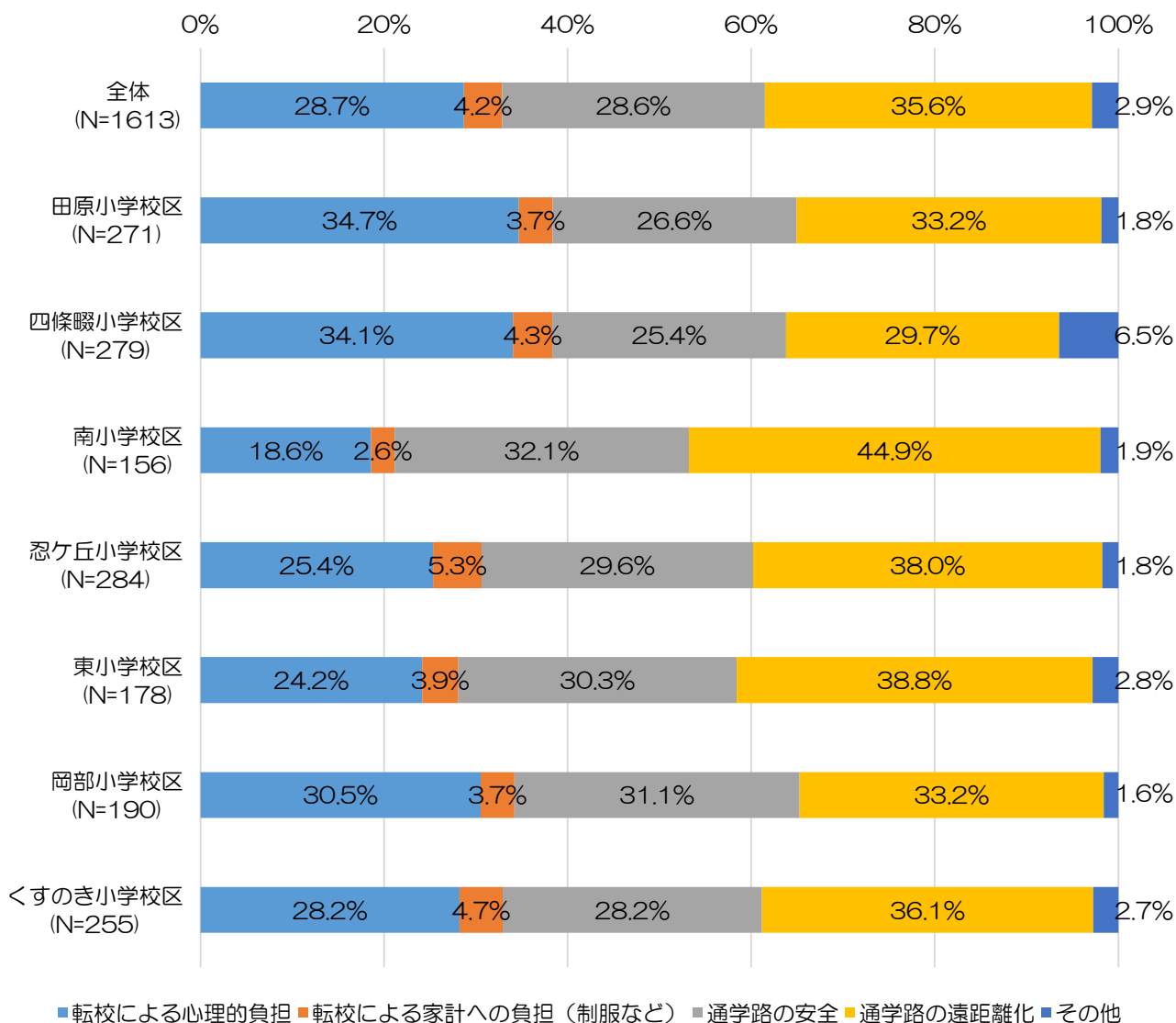
「計画の中で不安に思う項目はどれですか？」という質問に対して、世代別にみると、

20歳代・40歳代：「通学路の遠距離化」の優先順位1位の割合が最も高く、次いで「転校による心理的負担」「通学路の安全」「転校による家計への負担（制服など）」の順になりました。

30歳代・50歳代：「通学路の遠距離化」の優先順位1位の割合が最も高く、次いで「通学路の安全」「転校による心理的負担」「転校による家計への負担（制服など）」の順になりました。

60歳代以上：「通学路の安全」の優先順位1位の割合が最も高く、次いで「通学路の遠距離化」「転校による心理的負担」「転校による家計への負担（制服など）」の順になりました。

②小学校区別



「計画の中で不安に思う項目はどれですか?」という質問に対して、小学校区別にみると、

田原小学校区：「転校による心理的負担」の優先順位1位の割合が最も高く、次いで「通学路の遠距離化」「通学路の安全」「転校による家計への負担 (制服など)」の順になりました。

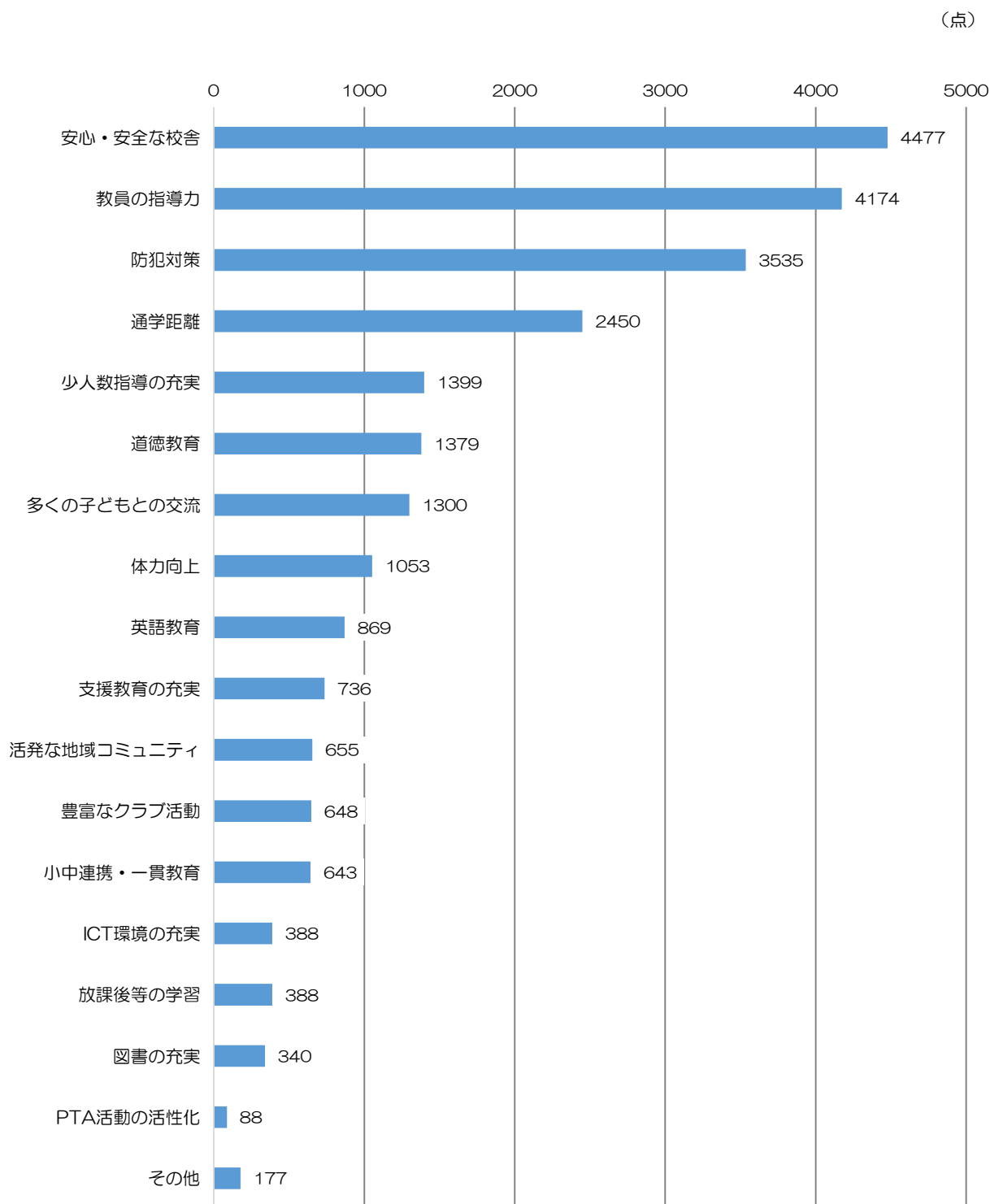
四條畷小学校区：「転校による心理的負担」の優先順位1位の割合が最も高く、次いで「通学路の遠距離化」「通学路の安全」「その他」の順になりました。

南小学校区・忍ヶ丘小学校区・東小学校区・岡部小学校区：「通学路の遠距離化」の優先順位1位の割合が最も高く、次いで「通学路の安全」「転校による心理的負担」「転校による家計への負担 (制服など)」の順になりました。

くすのき小学校区：「通学路の遠距離化」の優先順位1位の割合が最も高く、次いで「転校による心理的負担」「通学路の安全」「転校による家計への負担 (制服など)」の順になりました。

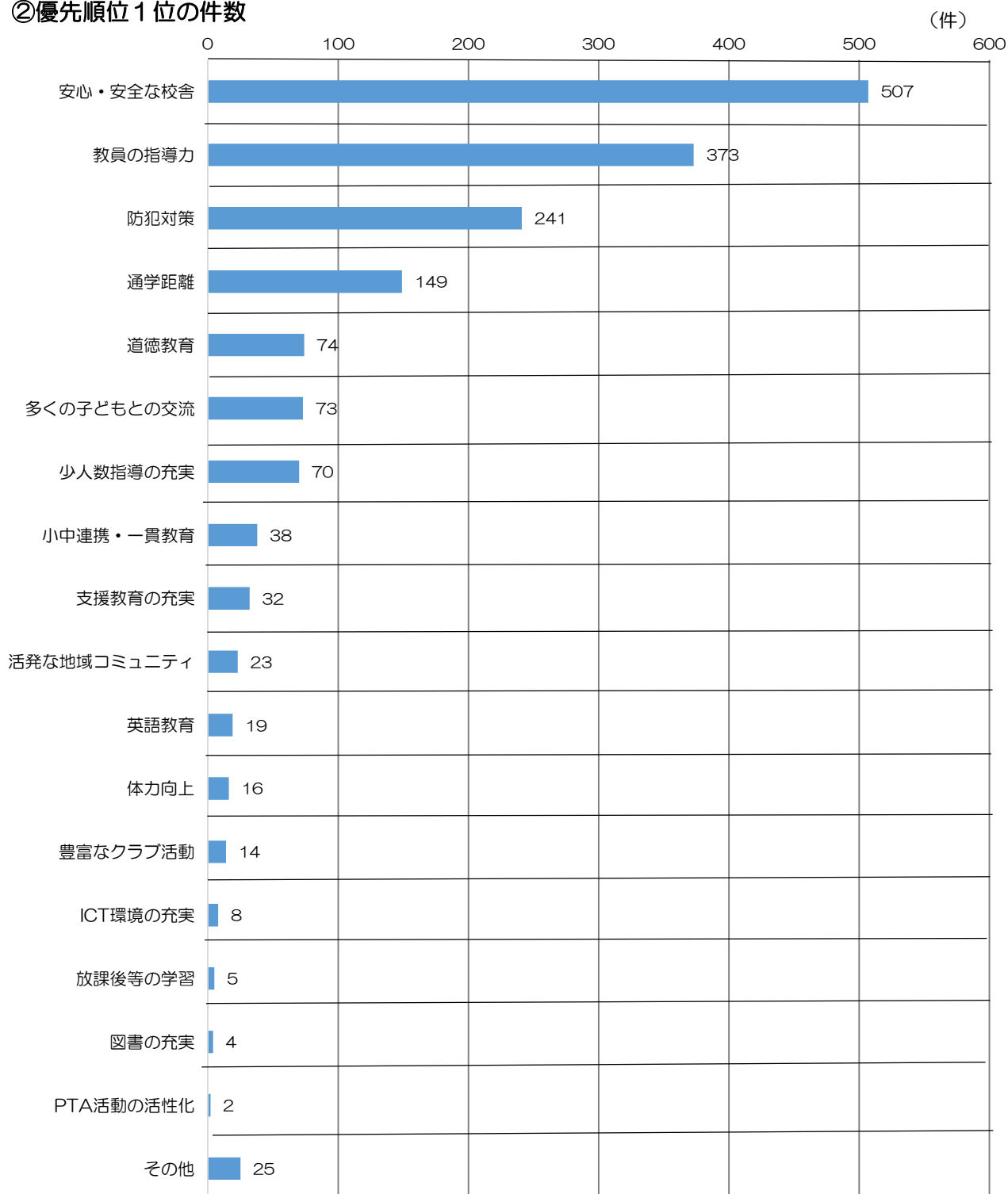
Q5.子どもにとってより良い教育環境として望むことはどのようなことですか？

①点数比較



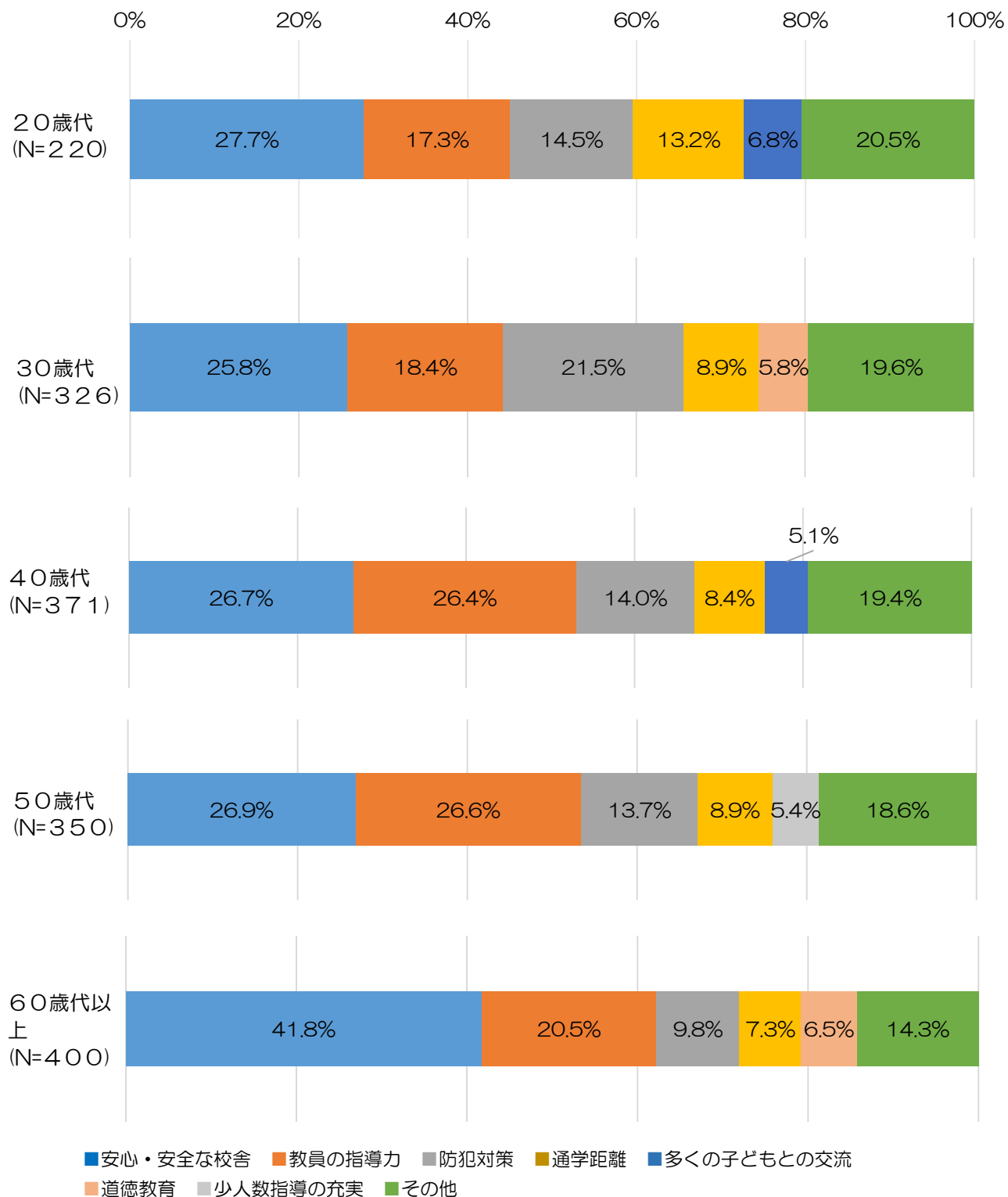
「子どもにとってより良い教育環境として望むことはどのようなことですか？」という質問に対して、
 ・優先順位1位の1件を5点/2位を4点/3位を3点/4位を2点/5位を1点
 として換算したところ、「安心・安全な校舎」(4477点)が最も点数が多く、次いで、「教員の指導力」
 (4174点)「防犯対策」(3535点)「通学距離」(2450点)の順となりました。

②優先順位1位の件数



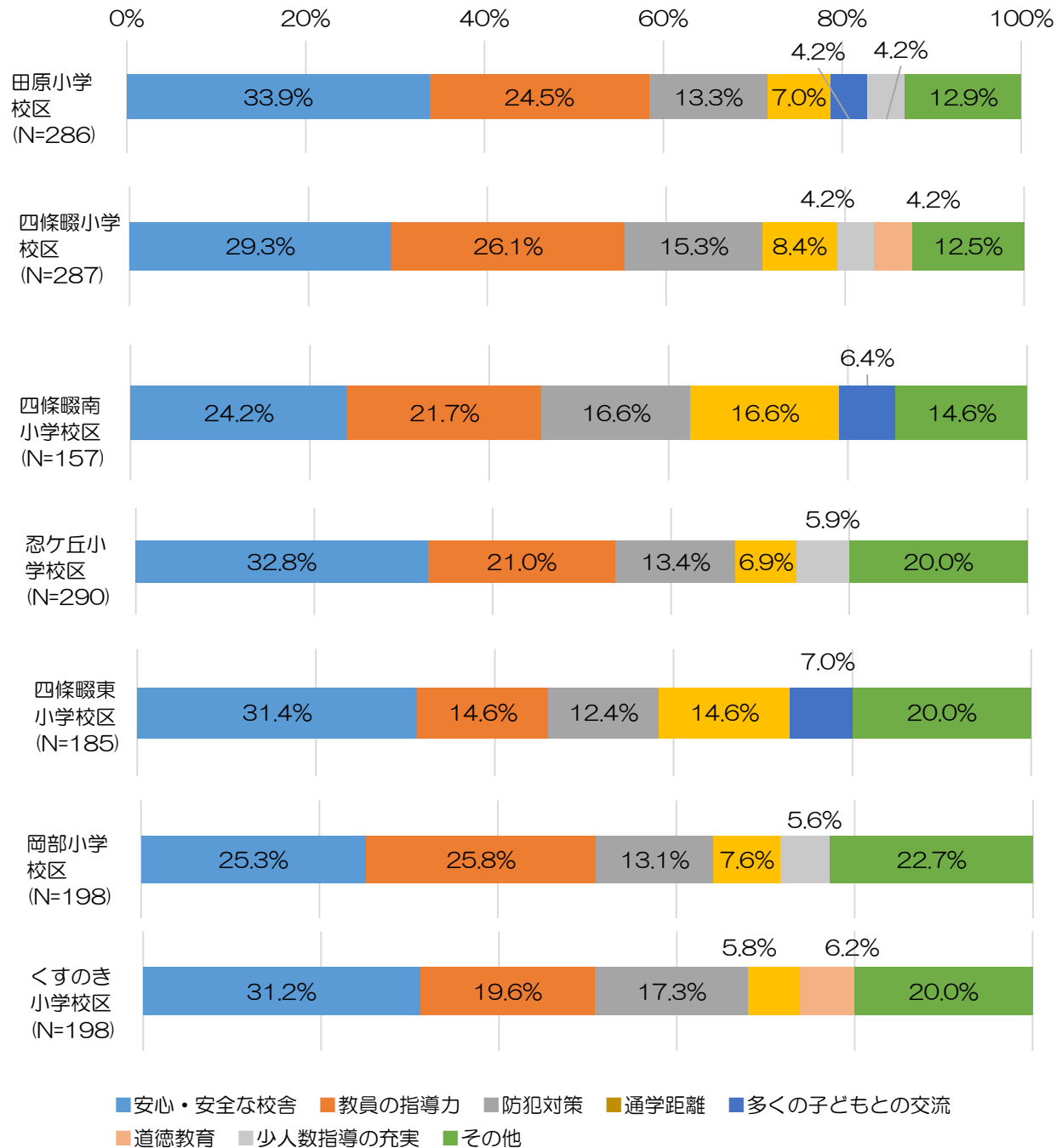
「子どもにとってより良い教育環境として望むことはどのようなことですか？」という質問に対して、「安全・安心な校舎」の優先順位1位の件数が最も多く、次いで「教員の指導力」「防犯対策」「通学距離」の順になりました。

③世代別・優先順位1位の上位5項目



「子どもにとってより良い教育環境として望むことはどのようなことですか？」という質問に対して、世代別にみると、すべての世代で「安心・安全な校舎」の優先順位1位の件数が最も多くなりました。30代以外では、次いで「教員の指導力」「防犯対策」の順になりました。30代では、次いで「防犯対策」「教員の指導力」の順になりました。

④小学校区別・優先順位1位の上位5項目



「子どもにとってより良い教育環境として望むことはどのようなことですか?」という質問に対して、小学校区別にみると、

田原小学校区・四條畷小学校区・忍ヶ丘小学校区・くすのき小学校区: 「安心・安全な校舎」の優先順位1位の件数が最も多くなりました。次いで「教員の指導力」「防犯対策」の順になりました。

四條畷南小学校区: 「安心・安全な校舎」の優先順位1位の件数が最も多くなりました。次いで「教員の指導力」「防犯対策」「通学距離」(「防犯対策」と「通学距離」は同件数)の順になりました。

四條畷東小学校区: 「安心・安全な校舎」の優先順位1位の件数が最も多くなりました。次いで「教員の指導力」「通学距離」の順になりました。

岡部小学校区: 「教員の指導力」の優先順位1位の件数が最も多くなりました。次いで「安心・安全な校舎」「防犯対策」の順になりました。

Q.6 その他、ご意見がありましたらご記入ください。

自由意見に509名の回答がありました。主な意見は、次のとおりです。

- 通学路の安全を確保してほしいという意見
- 四條畷小学校の存続を望む意見
- 通学路の遠距離化に関する意見
- 教員の指導力の向上を求める意見
- 小中学校の再編に反対する意見
- 教育環境の整備に当たっては、市民の声を十分に聴くべきとする意見
- 安心・安全な校舎を希望する意見
- 小中学校の再編に賛成する意見
- 小中学校の再編に関する方針を早期に決定すべきとする意見
- 学力向上を望む意見